編集・発行／福岡市市長室広報課 〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号☎711-4016 F732-1358 印刷／株式会社西日本新聞印刷

2015（平成27）年
11/15
No.1559
▷毎月1日・15日発行
1月15日は休刊

ふくおか FUKUOKA 市政だより

●人口（前月比1,019人増）
1,531,919人 男=723,409人 女=808,510人

●世帯数（前月比507世帯増）
766,413世帯
※上記は平成27年9月1日現在推計。人口と世帯数は、国勢調査の結果が発表され次第、更新します。

●面積
343.38㎢

●ダムの貯水率
94.18%
（11月4日現在）平年値63.56%

●市政だよりの配布 …… 産交ミック ☎ 0120-544-894
●市政に関するご意見・要望・相談
…… 広聴課 ☎ 711-4067 F 733-5580
●福岡市役所代表電話 …… ☎ 711-4111

アジアのリーダー都市へ FUKUOKA NEXT

テレビ番組「チャレンジ！FUKUOKA NEXT」
毎週月曜日、KBC九州朝日放送で放送中

STARTUP CAFE スタートアップカフェ
1周年イベントに集まった人たち

市長からのメッセージ スタートアップネクスト

昨年10月に創業支援の拠点として市が開設したスタートアップカフェでは、日々新たな出会いが生まれ、新しい企業が次々と誕生しています。

また、民間でも共同利用オフィスの提供やファンドの創設など創業支援の動きが活発化しており、市の開業率は2年連続政令指定都市中で1位となるなど、創業ムーブメントは広がりを見せています。

この盛り上がりを市経済全体の活性化につなげようと、市は創業企業と既存企業の連携を促進するための取り組みを進めています。世界に通用する価値を生み続けるために、新たに獲得した規制緩和も活用しながら、グローバル創業都市の実現を目指していきます。

福岡市長 髙島宗一郎

今号の主な内容

●特集 **スタートアップ支援は次の段階へ** … 1 2
●地域コミュニティNEXT …… 3
●わたしのNEXTチャレンジ …… 3
●博多ライトアップウオーク2015 …… 4
●障がい者週間記念の集い …… 5
●市民の交流ページ　ホッとふくおか …… 6
●情報BOX …… 7 ～ 14
●区版 …… 15 16
※家庭ごみ 分け方・出し方・減らし方 保存版 …… 同時印刷

次号の主な記事 **人権特集**

気づいてよ　うその笑顔と　心の傷を（人権尊重週間入選標語　西福岡中学校3年　坂口（さかぐち）　由奈（ゆうな）さんの作品）

*この市政だよりは再生紙を使用しています。

スタートアップ支援は次の段階（ステージ）へ

STARTUP CAFE

スタートアップ（起業・創業）する人、したい人、応援したい人が気軽に集まり交流できる場「スタートアップカフェ」が、10月11日に1周年を迎えました。市への起業・創業に関する相談は、同カフェの誕生以降、4倍以上に増えました。人々が集うスタートアップカフェと国家戦略特区による規制緩和などを紹介します。

中央区今泉一丁目のツタヤブックストア天神3階にあるスタートアップカフェ＝**左写真**＝は、起業を志す人を支援する場所です。予約不要で誰でも無料で利用できます。

同カフェでは起業に関する情報の提供や相談はもちろん、スタートアップ企業と既存企業とのマッチング、新たな人材との出会いの場としても活用されています。起業したい人、スタートアップを応援しようという企業、弁護士や税理士などの専門家が集い、新たなアイデアやサービスを生み出しています。1年間に同カフェで受け付けた相談件数は1304件。同カフェを活用して36社以上が起業しました。

スタートアップカフェ1周年を迎えました

10月7日に行われた1周年記念イベントには、福岡で起業した人たちをはじめ、スタートアップを応援しようという多くの企業や専門家が集まりました。福岡で起業したフランス人やイギリス人、台湾の企業も参加し、海外への広がりも見せています。

コンシェルジュが常駐

同カフェには午前10時からコンシェルジュが指南役として常駐し、ビジネスアイデアの相談を受け付けています（受け付けは午後9時まで）。

また、毎週木曜日は個別相談デーを開催。午後5時以降はコンシェルジュ以外にも、日本政策金融公庫など起業を支援する専門家が集い、相談に応じています（女性起業家による相談会は午後3時から）。

スタートアップカフェ スタッフの皆さん

雇用労働相談センター

弁護士が常駐する雇用労働相談センターが、同カフェ内に併設されています＝**右下写真**。同センターは、国家戦略特区事業として福岡市に昨年、全国で初めて国が設置しました。労務管理や労働契約などの雇用ルールについて、気軽に相談できます。オープンからの10カ月で、約820件の相談がありました。

多種多様なイベントも

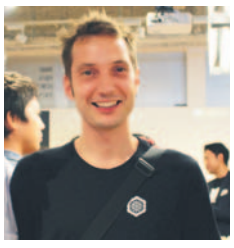
同カフェを活用して、さまざまなイベントが行われています。開業手続きや資金調達など起業に関するセミナーの他、海外での起業や地域課題解決に関するセミナー・講演会を民間企業等が主体となって開催。先輩起業家による相談会や仲間と出会える交流会などのイベントも合わせると年間392回、延べ約8200人が参加しました。

【問い合わせ先】
スタートアップカフェ☎080・3940・9455 ✉fukuoka@startupcafe.jp 開午前10時～午後10時

国家戦略特区による規制緩和

外国人の創業促進 スタートアップビザ

外国人が創業のために日本に入国するには、厳しい要件があります。特区の規制緩和策として市が国に提案した「スタートアップビザ」が、認められました。外国人にとって、福岡市では他都市に比べて創業しやすくなります。


福岡市で起業したトム・ブルックさん

市が事業計画を認めれば、半年間滞在できるというもので、その間、市はスタートアップカフェを拠点に支援し、外国人の創業を支えます。

【問い合わせ先】
創業大学連携課☎711・4455 F711・4354

NPO認証手続きを迅速化します

今年7月に国家戦略特別区域法の一部が改正され、特区エリア内のNPO法人の認証手続きにおける特例（縦覧期間の短縮）を設けることが認められました。

NPO法人の設立や定款変更、合併を行う際の認証について、NPO法で定めた申請書類の2カ月間の縦覧期間が2週間に短縮され、これまで申請から最長4カ月を要していた認証手続きが、最長約2カ月半でできるようになりました。

市は、ソーシャルビジネス（住民やNPO、企業などの社会的課題解決に向けた取り組み）の一翼を担うNPO法人を、支援していきます。

【問い合わせ先】
市民公益活動推進課☎711・4927 F733・5768

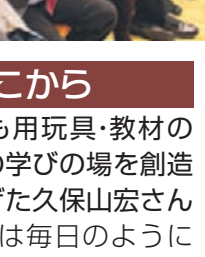
わたしのNEXTはここから

今年7月に子ども用玩具・教材の開発や子どもたちの学びの場を創造する会社を立ち上げた久保山宏さん（33）「起業する際は毎日のようにカフェに通い詰めました。オープンな雰囲気なので、気負わずに利用できます。専門家に連絡を取ってくれたり、会いたい人に会わせてくれたり、コンシェルジュの皆さんが親身に相談に乗ってくれました」

あなたのNEXTを応援します

情報誌アヴァンティ編集部の中園紹子さん（35）＝写真左
「カフェでは女性を対象に、先輩女性起業家による相談会やセミナー、交流会などが開催されています。チャレンジへの一歩、私も応援します」

スタートアップカフェのコンシェルジュ 阿南喜房さん（51）＝写真右「大学生から82歳まで幅広い年齢層の人がここを訪れています。ビジネス書を探しに来てふらっと立ち寄る人や、海外から通訳を連れての相談もありました。さまざまな職種の、さまざまな人々がコーヒーを飲みながら語り合っています。遠慮なくスタッフに声を掛けてください」



スタートアップカフェ協力企業のアマゾンウェブサービスジャパン事業開発部マネージャー畑浩史さん
「カフェは活気にあふれています。ここからムーブメントを巻き起こし、もっと創業機運を高めて一緒に福岡を盛り上げていきましょう」

テレビ番組スタート
チャレンジ！ FUKUOKA NEXT（フクオカ ネクスト）

市内に住む人や企業、地域コミュニティなど、未来に向かってチャレンジする人たちを応援するテレビ番組「チャレンジ！ FUKUOKA NEXT」の放送が11月から始まりました。毎週月曜日の夜、KBC九州朝日放送で全18回放送します。

11月2日に放送した第1回には視覚障がいのあるマラソンランナー、道下美里さん（38）が登場し「リオパラリンピック金メダル」と自身のネクストチャレンジを掲げてくれました。このような個人的な宣言から地域コミュニティなど団体の取り組みまで、さまざまなチャレンジを毎週紹介します。

道下美里さん

11月のナレーター徳永玲子さんもネクストチャレンジを宣言

11月16日㈪、23日㈪、30日㈪いずれも午後9時48分からの放送予定です。テレビ等で活躍中のタレントの皆さんが月替わりでサポーターとなり、ナレーションを担当します。

【問い合わせ先】
広報戦略課☎711−4878 F732−1358

福岡市の画像検索サイト まるごと福岡・博多
街並みや自然、歴史、伝統、食文化といった福岡の魅力を、写真画像を中心に紹介するサイトです。
HP http://showcase.city.fukuoka.lg.jp/ 問広報課☎711−4016 F732−1358